

## 動物病院における動物看護職の存在

### The Presence of Veterinary Nurses in Veterinary Hospitals

小嶋 佳彦 小島動物病院アニマルウェルネスセンター 院長  
Yoshihiko KOJIMA Director, Animal Wellness Center, Kojima Animal Hospital



皆さん、おはようございます。ただいまご紹介いただきました小嶋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私が思うところの動物病院における動物看護職の重要性ということでお話をさせていただきます。

#### 神戸アニマルケア国際会議2009

(2009年12月)

ワークショップV  
アニマルケア・動物病院および動物看護職の果たす役割

【スライド1】

#### 動物病院における動物看護職の重要性



小島動物病院アニマルウェルネスセンター  
小嶋 佳彦  
イラストレーター・動物看護職 小嶋 佳彦

【スライド2】

今から3年ぐらい前だったと思いますが、2006年の日本経済新聞に、動物看護師に『国家資格』をという記事が出ておりました。この記事がきっかけというわけではないと思いますが、このあたりから動物看護を取り巻く環境というものが急に忙しくなってきたと感じております。ここから出発したといいますが、実際、現場では少し時間がかかるものと思われるので、それまでの間は、関係者は統一見解に基づく盛り上げが必要と思われます。【スライド3】



【スライド3】

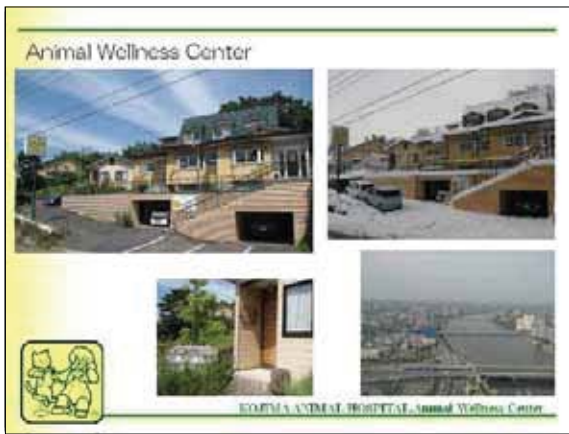


【スライド4】

今年の5月になりますが、関係者の努力により日本動物看護職協会の設立総会が開催されました。総会においては理事の皆さんからそれぞれの立場で、それぞれの熱い思いを語っておられたのがとても印象深いものでありました。また学会発表をはじめ、獣医学関連の大会等では日本動物看護職協会の皆さまが受付などで、会員増大を図っているところでございます。【スライド4】

私自身は人口81万の新潟市という中型都市で動物病院を開業しております。また動物病院の隣では妻がヒトを対象とした心理相談室を立ち上げて開業しております。これが私のバックグラウンドです。

本日は開業獣医師の立場で私はお話をさせていただくわけですが、動物病院開業30年を振り返り、いくつかご報告があります。20代で妻に手伝ってもらい、2人で開業し、20代から40代は仕事と研究、学会発表に明け暮れ、また40代ではスタッフの充実と経営の安定に努め、そして今、50代半ばになりまして、子供たちは

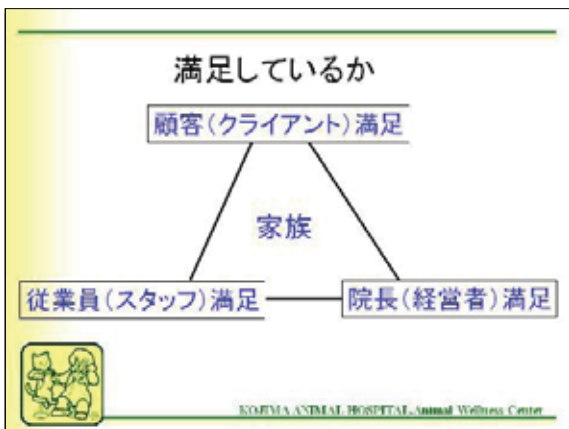


【スライド 5】



【スライド 6】

長男が獣医師、長女が動物看護職の仕事につき、まだまだ育成は必要ですけど、少しずつですが、スタッフの充実ができてきました。今後は健康管理も含めてよりよい動物病院づくりを目指しているところでございます。いずれにしろ、子供たちもスタッフも一人前になるまでにはとても時間がかかりますし、お金もかかる話であります。また、愛情をかけないとスタッフも育たないというのが実感であります。【スライド 5】【スライド 6】



【スライド 7】

動物の看護をとおして人生に満足しているのかどうかということがとても大切なことだと思います。従業員満足、顧客満足、そして経営者満足という、この3点が動物という家族を通して結ばれていくことが大切ではない

かと思います。一つが崩れると、なかなかうまくいかないということをたくさん経験してきております。動物病院に限らず、どこの職場でも同じようなことが言えるのではないかなというふうに思います。【スライド 7】



【スライド 8】

それでは、動物病院でよい仕事をするということの意味するのか、私が考えますには、獣医学的なケアと、動物看護学的なケア、これだけでは不十分であります。やはり人間性というものが伴わなければよい仕事はできません。ただ、20歳や21、22で動物看護の学校を卒業された皆さまに、あなたは人間性があるかないかと問うても、自分がそのころの年齢のことを振り返ってみると、やはり仕事をとおして、少しずつ人間性を積み上げていくということが動物看護職としても大事なんじゃないかなというふうに思います。人間性が備われば、よい看護ができるんじゃないかなというふうに思っております。【スライド 8】



【スライド 9】

仕事と経営ということを考えましたときに、動物病院も一般の社会や会社と同じで、この4つが考えられます。倒産・廃業・売却・継承です。やはり継承をすることが大切と考えます。親族、従業員の方、ほかの方、また共同経営、いろいろな手段があると思います。獣医師も動物看護職も仕事を継続し、またそれを受け継ぐためには役割分担ということも大事になってくるというふうに



【スライド10】

思っております。さらに、獣医師の仕事というのは、信頼はもちろんですが、診断・手術・処方そして予後の判定の4つが獣医師の仕事の範囲といわれています。ということは、この4つ以外が動物看護職の仕事といってもいいのではないかと思います。【スライド9】【スライド10】



A B t B / B B : : A



A B t B / B B : : A

a z w ^ w s r z h T w ? Ø w  
 0 z V j q b \ q U ' M a s M  
 T s { X t z t O p b v { ' h - { < T t ' h p b  
 U g r ' o x a o ' h q M O ~ O t M Q p x  
 s M p ' O T { æ · ^ x ! Z ' Z  
 ... w O g z ° F f z U \* z \ . U \* { h  
 æ ç w M U 2 r p b w x M T U s w T q  
 M O \_ z J x K b z t f O x ¥ M b U z  
 M w q \ z æ ç w ^ t f \ p l o M h  
 i T s M q · ^ U s s M q M O w ~ p b { V j l  
 q > > U ^ o M \ q U G ~ p b { h [ j z -  
 « » 4 z M s \ q ' o M z h ^ æ w  
 ç z \ g z · > p s X ' q M l h O s w  
 K b { < < z s T t x M ' £ w / t <  
 < q T æ 0 q M O w x æ · ^ w ~ p x  
 s M q s l ' M G N S b U z t x f O x ¥  
 M d { h q Q y z } t p V h æ \_ m Z h  
 q T z ? [ s X S , T ' h X p U \_ m T l h  
 q T z f O M O w C \_ b w x † t C \_ ^  
 \ q s X x K d { ' w æ ç  
 x z 6 \ p b q T Z . \ w f q M O \ q ~ t



A B t B / B B : : A



A B t B / B B : : A

f p x æ ç w ~ q M O  
 T z j \ w r q ' T q \ x p K Z  
 b U z t w · ^ p w \ q t v ' o S Ø ^ d o M h  
 V b { X w ~ U K b U z M w q \ ? U  
 ~ T q M O z U [ \$ s f O p b U z f l Æ ' >  
 † ^ p b v { æ ç z h ^ M ^ w ;





【スライド 15】



【スライド 19】

なります。また病院内の勉強会、また動物病院の公開講座などもあるわけですが、最近では高齢動物が多く、それに準じたものやっていくことが、これからの動物看護職を生かす一つの道じゃないかなとも考えます。私の病院では動物の数が7歳以上と7歳以下でちょうど50%、30年前では考えられないことです。

【スライド 11 ~ 19】



【スライド 16】



【スライド 20】

何れにせよ、優秀な動物看護職が育つことにより、獣医師は治療に集中できます。優秀な動物看護職というのは、仕事をやっていくうちにだんだんと優秀になっていけばいいのではないかなというふうに私は思っております。【スライド 20】



【スライド 17】



【スライド 18】



【スライド 21】

20歳、21、22の皆さんに100%求めても無理があります。とりあえず仕事に、そして仕事と家庭のバランス、そういうことも大事になってくると思います。やはりあと健康管理、そういうことを目指すという意味で、私の病院はウェルネスという言葉を使っています。



【スライド 22】



【スライド 23】

以上、いろんなことをお話させていただきましたけど、動物を中心でのお話をさせていただきましたが、動物看護職の皆様が、ヒトと動物の共通の感染症のお話をしたりとか、動物をとおして社会貢献していることなど、動物だけではなくてヒトのためになる仕事をしているということを、もっと私たちはアピールしていかなければいけないというふうに思います。そして、最後はどんなに技術や知識があっても、思いやりの心が欠けている人は、この仕事にはついていけないというふうに思います。ありがとうございました。